

日本工学アカデミー「人間の安寧とより良き生存」を目指した工学倫理と工学教育プロジェクト
第三回シンポジウム

ことばと倫理

人間をめぐる問いと対話



根本 知

書家・大河ドラマ『光る君へ』
題字揮毫および書道監修



岡ノ谷 一夫

生物心理学者
帝京大学先端総合研究機構 教授

2024年 **8/10(土)**

14:00-17:30

東大駒場リサーチキャンパス ENEOSホール
(会場詳細は裏面をご参照ください)

わたしたちは、なぜ「ことば」を話し「文字」を書くのだろうか？「ことば」とは一体何だろうか。

第二回シンポジウム「生成AIと倫理」では、生成AIの本質にある言語とコミュニケーションにおけるフェイク性やバイアス、脆弱性をどう乗り越えていくべきか、分野を超えた議論が交わされた。

わたしたち人間はあまりにも言語の世界に生き、個人を超えた知の結集である言語によって築かれた文明の中で、その根深い問題を自覚したり知覚したりすることが益々難しくなっているのではないだろうか。古来より、「こと」が声になり、歌となり、音楽となり、神話となり、物語となり、人類への啓示ともなってきた。

今回は、「ことばと倫理」をテーマに、文化・歴史、生物進化と心理、遺伝情報、生体工学、脳科学など多様な観点から、ことばの起源や成り立ち、ありようを探り、日本で培われた自然観や審美眼、価値感を交え、普遍的な倫理につながる視座とヒントを探る。

タイムテーブル

(敬称略)

14:00-14:05	はじめに	大橋 俊朗 (プロジェクト幹事)、沖田 京子 (プロジェクト副幹事)
14:05-14:10	開会挨拶	杉山 正和 (東京大学 先端科学技術研究センター 所長/教授)
【第一部】		
14:10-14:25	PJ紹介と狙い	小泉 英明 (プロジェクトリーダー)
14:30-16:00	基調講演 (休憩)	根本 知/岡ノ谷 一夫
【第二部】		
16:10-17:25	TD*トーク	根本 知、岡ノ谷 一夫、太田 博樹、松永 行子、田口 康、小泉 英明
17:25-17:30	閉会挨拶	長井 寿 (プロジェクト副リーダー)

*TD: Trans-disciplinary (環学的)

イベント詳細・お申込み (参加無料)

イベント申込サイトより、ご登録をお願いします。



日本工学アカデミー、東京大学 先端科学技術研究センター、生存科学研究所 共催
(一般財団法人 新技術振興渡辺記念会 科学技術調査研究助成事業)

*プログラムは予告なく変更の可能性がありますことあらかじめご了承願います。

基調講演

ことばと書法の関係性



根本 知／ねもと さとし

書家・大河ドラマ『光る君へ』
題字揮毫および書道監修

書体には中国で生まれた「篆書」「隸書」「楷書」「行書」「草書」に加え、日本で独自に発展した「仮名」があります。これらには様々な用途があり、すべてが芸術表現だと一括りにすることができません。各書体が何のために生まれ、どのように活用されたか。「ことば」と「書法」の関係性について概観および考察することで、現代の我々が手で書くことの意義について、改めて考えたいと思います。

【プロフィール】書家。書道学博士。紫式部の生涯を描く2024年NHK大河ドラマ「光る君へ」題字揮毫および書道指導。立正大学、放送大学等で教鞭を執る傍ら、グローバルブランドへの作品提供やNYでの個展開催など創作活動も多岐に渡る。茶の湯へと繋がる和歌の思想について解説、および作品を制作。近著に『書の風流 近代芸術家の美学』、『平安かな書道入門－古筆の見方と学び方』など。

コミュニケーションから心へ：言語と意識の起源



岡ノ谷 一夫／おかのや かずお

生物心理学者
帝京大学先端総合研究機構 教授

人類の文明を作った認知革命は、言葉の発生とほとんど同義である。生物の体や行動が進化によって形成されたように、言葉も進化の過程で形成されたはずだ。言葉は相手がそばにいる場面で進化してきた。しかしこの1世紀ほどの間、言葉は情報技術に乗り、非対面場面でも配布されるようになった。この数年の生成AIの興隆は、我々の生き方を大きく変えている。言葉によって開発された科学技術が、人間の心を蝕むことを阻止するため、動物の音声コミュニケーションから言葉の起源、そして心の起源を考えよう。私が考える「言葉の歌起源説」および「心の他者起源説」を説明し、生物としての人間のこれからを考える。

【プロフィール】生物心理学者。帝京大学先端総合研究機構・教授。東京大学名誉教授。動物行動学、言語起源論をベースに、多方面で言葉の起源や進化について発信。著書に『言葉はなぜ生まれたのか』、『つながりの進化生物学』、『脳に心が読めるか？』、作家・小川洋子さんの対談『言葉の誕生を科学する』など。「共創的コミュニケーションのための言語進化学」など先端の研究を牽引。

TDトーク



太田 博樹／おおた ひろき

東京大学・大学院理学系研究科・生物科学専攻 教授。ドイツ・マックスプランク進化人類学研究所、イェール大学医学部でゲノム領域で人類集団の多様性を研究。琉球諸島民などの実験集団遺伝学を進め、北里大学医学部・解剖学教室の准教授を経て、2019年より現職。特に縄文人ゲノム解析に注力。



松永 行子／まつなが ゆきこ

東京大学 生産技術研究所 機械・生体系部門 教授。工学系研究科バイオエンジニアリング専攻でも教鞭を執る。組織工学研究により疾患の原因究明や創薬・再生医療への活用を目指している。近年、科学とデザイン・アート分野の融合に取り組む。平成30年度文部科学大臣表彰若手科学者賞。Attune「血管の音色」（松永研究室、DLX Design Lab、ベツアルエル美術デザインアカデミー）を発表。



田口 康／たぐち やすし

日本工学会アカデミー理事、防災科学技術研究所審議役、長野大学特任教授。日本原子力研究開発機構副理事長、文部科学省大臣官房サイバーセキュリティ・政策立案総括審議官、文部科学省 国際統括官、日本ユネスコ国内委員会事務総長等を歴任。

【会場アクセス】

東京都目黒区駒場4-6-1

東京大学 駒場Ⅱキャンパス
先端科学技術研究センター3号館 南棟 1F
ENEOSホール

- 小田急線／東京メトロ千代田線・代々木上原駅より徒歩12分
- 小田急線・東北沢駅から徒歩8分
- 京王井の頭線・駒場東大前駅西口から徒歩10分
- 京王井の頭線・池ノ上駅から徒歩10分

アクセス | 東京大学 先端科学技術研究センター (u-tokyo.ac.jp)

